

株式会社やまみ(スタンダード市場 2820)
2025 年6月期第3四半期累計期間業績概要

○売上高は前年同期比 1,502 百万円増加

当社の経営環境は、長期化する原材料費やエネルギーコストの高止まりによる物価上昇や賃金上昇などに影響を受ける状況が続いております。

当第3四半期累計期間における当社業績は、売上高は前年同期比 1,502 百万円増加致しましたが、昨年手当てした輸入大豆の使用が2月まで継続したことに加え、包装資材、エネルギー価格の高止まりの影響を受け、売上原価が前年同期比 1,806 百万円増加したため、売上総利益は 3,265 百万円と前年同期比 304 百万円の減少となりました。同様に営業利益、経常利益、四半期純利益についても前年同期比減少となりました。

本社工場では昨年秋に厚揚げラインの増設と油揚げラインの設備更新を行いました。厚揚げラインは2ラインから3ラインに増加し生産能力を 1.5 倍に引き上げました。油揚げのラインは今まで手作業だった工程を自動化することで生産能力を3倍に引き上げています。昨年の冬から本格的な生産に入り、売り上げの増加に寄与いたしております。

○富士山麓工場の売上高について

富士山麓工場においては、既存取引先の上位 10 社が軒並み前年同期比 110%を超える売り上げとなっております。これは関東圏のお取引先様に PB や厚揚げ等新規導入の商品が増えた結果です。特に北海道産大豆を使った商品の新規導入が増え、単価の上昇につながりました。富士山麓工場の売上高は前年同期比 127.2%、東京営業所の売上高は前年同期比 140%超となりましたが、これは関西工場からの出荷高も含まれるため、関東圏での営業は順調に推移しています。

○直近の事業環境について

豆腐製造業は、大手小売業者の要望に応えられる大規模事業者への集約が加速度的に進行しております。大豆や食用油の価格上昇以外にも、原油価格の上昇による包装材料や物流費など各種コストはさらに上昇しており、高齢化と人手不足から同業他社の廃業も増加の一途を辿っております。

以上のような環境下、当社は伝統的なお豆腐から収益性の高いカット3P豆腐や競争力の高い厚揚げ等、お取引先様にご好評頂いている製品への集約を進め、国内産大豆による高付加価値商品への切り替えを進めております。

○業績サマリー（第3四半期累計 前年同期比）

単位：百万円

	2024年6月期 第3四半期実績	2025年6月期 第3四半期実績	前年同期比増減率 (前年比)
売上高	14,381	15,883	10.4%
営業利益	1,774	1,326	△25.3%
経常利益	1,772	1,327	△25.1%
四半期純利益	1,269	1,227	△3.3%

参考資料（第3四半期のみ 前年同期比）

単位：百万円

	2024年6月期 第3四半期実績	2025年6月期 第3四半期実績	前年同期比増減率 (前年比)
売上高	4,809	5,482	14.0%
営業利益	499	518	3.8%
経常利益	498	517	3.8%
四半期純利益	376	667	77.4%

1. 2025年6月期第3四半期業績概要

◎売上高

全ての工場で前年同期比増加、特に関東エリアでの販売好調で富士山麓工場だけでなく、一部商品を関東へ出荷している関西工場の売上も増加しております。本社工場は設備を強化した油揚げと厚揚げが好調に推移しており、売上高は前年同期比で1,502百万円増加の15,883百万円となりました。

◎売上総利益

為替レートが円安から円高傾向となり、昨年契約した外国産大豆が2月で切り替わったことにより原材料費は良化傾向にあります。参考資料（第3四半期のみ 前年同期比）に記載の通り、第3四半期のみではその結果として各利益が増益となっておりますが、第3四半期までの累計では包装資材及びエネルギー価格の高止まり等で売上原価は前年同期比1,806百万円増加し、売上総利益は前年同期比では304百万円の減少となる3,265百万円となりました。

◎営業利益

荷造運賃は前年同期比129百万円の増加、販売手数料は前年同期比28百万円の増加と売上の増加に伴い費用も増加し販売費及び一般管理費は前年同期と比べ144百万円の増加となりました。加えて、売上総利益が304百万円減少したことで営業利益は前年同期比では448百万円の減少となる1,326百万円となりました。

◎経常利益

営業外収益、営業外費用ともに前期と大きな差異はございませんでしたが、営業利益と同様、売上総利益が減少したことで、経常利益は1,327百万円となりました。

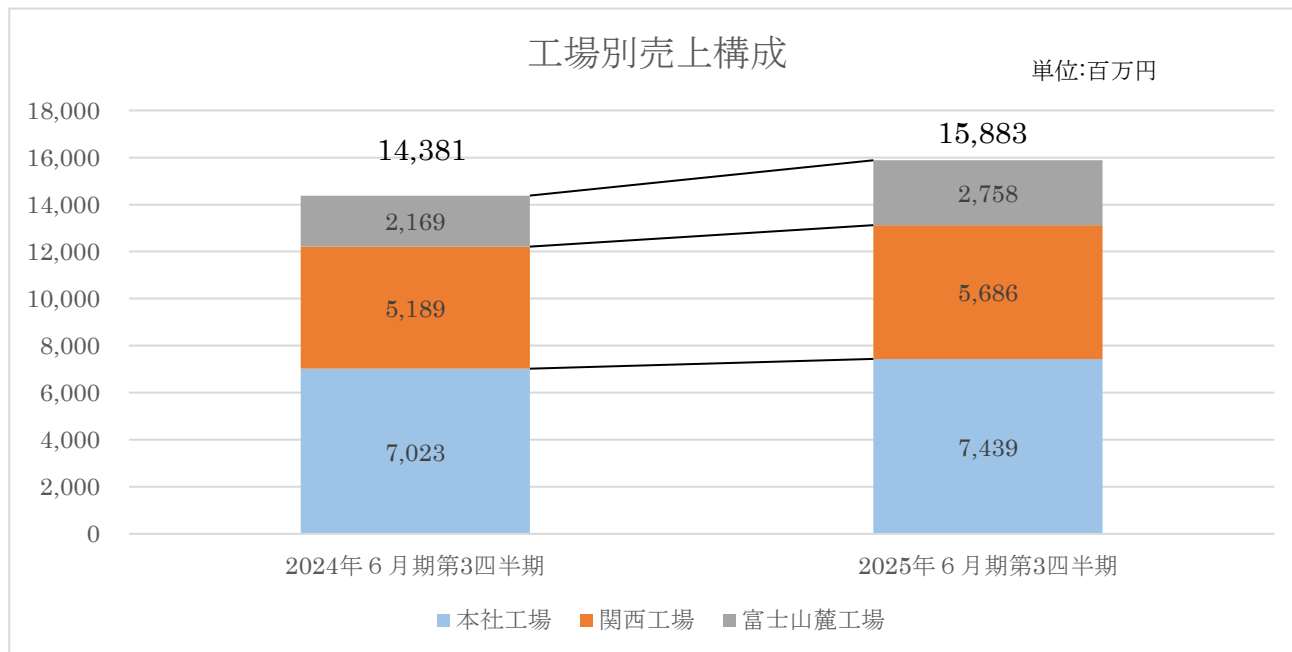
◎四半期純利益

特別利益に農林水産省の補助事業である令和5年度「食品原材料調達リスク軽減対策事業」に係る補助金444百万円計上いたしました。営業利益、経常利益と同様、売上総利益が減少したことで、四半期純利益は前年同期比で42百万円減少の1,227百万円となりました。

○工場別売上構成について

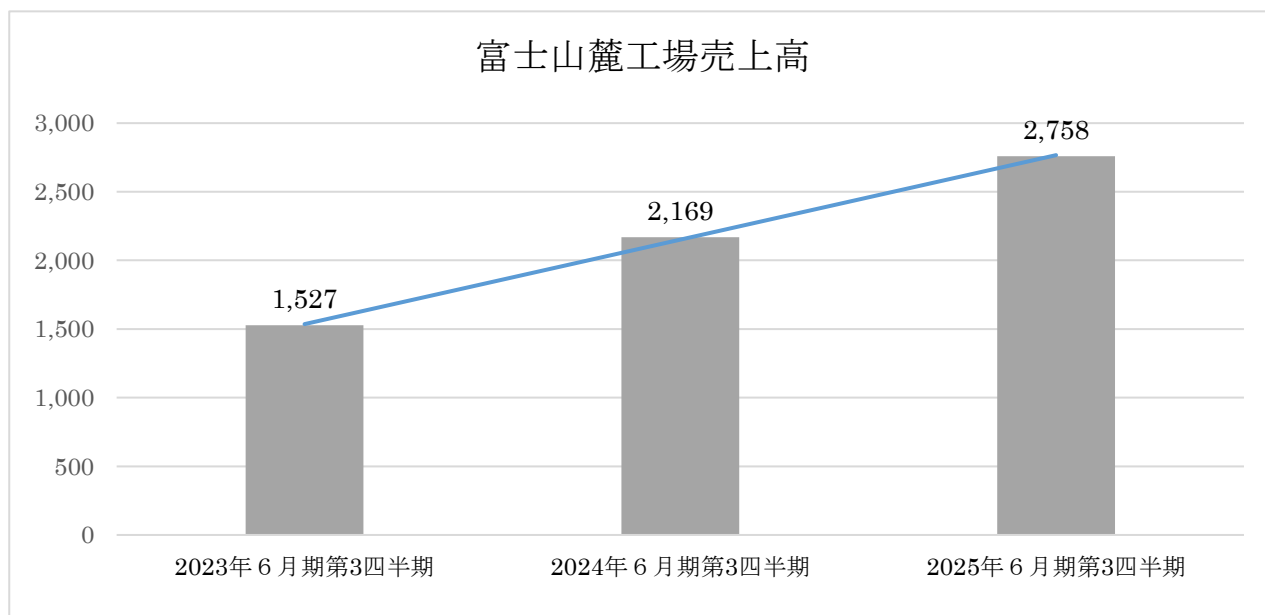
2025 年 6 月期第 3 四半期における当社の工場別売上構成について

本社工場は設備更新を行った期間、生産を停止していましたが、再開後は順調に推移しています。関西工場や富士山麓工場は関東圏でのお取引先様から、カット 3P 豆腐や厚揚げ等取扱商品が増え前年同期比増加で推移しています。



○富士山麓工場売上高について

富士山麓工場については、関東でのお取引先様に当社製品の競争力、品質が認知され幅広く商品の納入が増加し、2025 年 6 月期第 3 四半期における売上高が 2,758 百万円となり、前年実績の 2,169 百万円から 589 百万円増加しました。



【株式会社やまみ 会社概要】

設立： 昭和 50 年 1 月
代表者： 代表取締役社長 山名 徹
資本金： 1,245 百万円
事業内容： 豆腐及びその関連製品である厚揚げ、油揚げ等の製造、販売
本社： 広島県三原市沼田西町小原字袖掛 73 番地 5
事業所 関西工場
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘 16 番地
富士山麓工場
静岡県駿東郡小山町湯船字下原 959 番 16
大阪営業所
大阪府茨木市末広町 4-41-202
東京営業所
東京都北区東田端 2-7-16 神原ビル 2 101 号室
従業員数 正社員 247 名、パート社員 346 名
合計 593 名 (2025 年 3 月末現在)

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社やまみ 経営企画室

TEL：0120-047-803 FAX：0848-86-3676 e-mail：ir@yamami.co.jp

本資料は、2025 年 6 月期第 3 四半期の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は 2025 年 5 月 8 日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。